

種苗をめぐる情勢

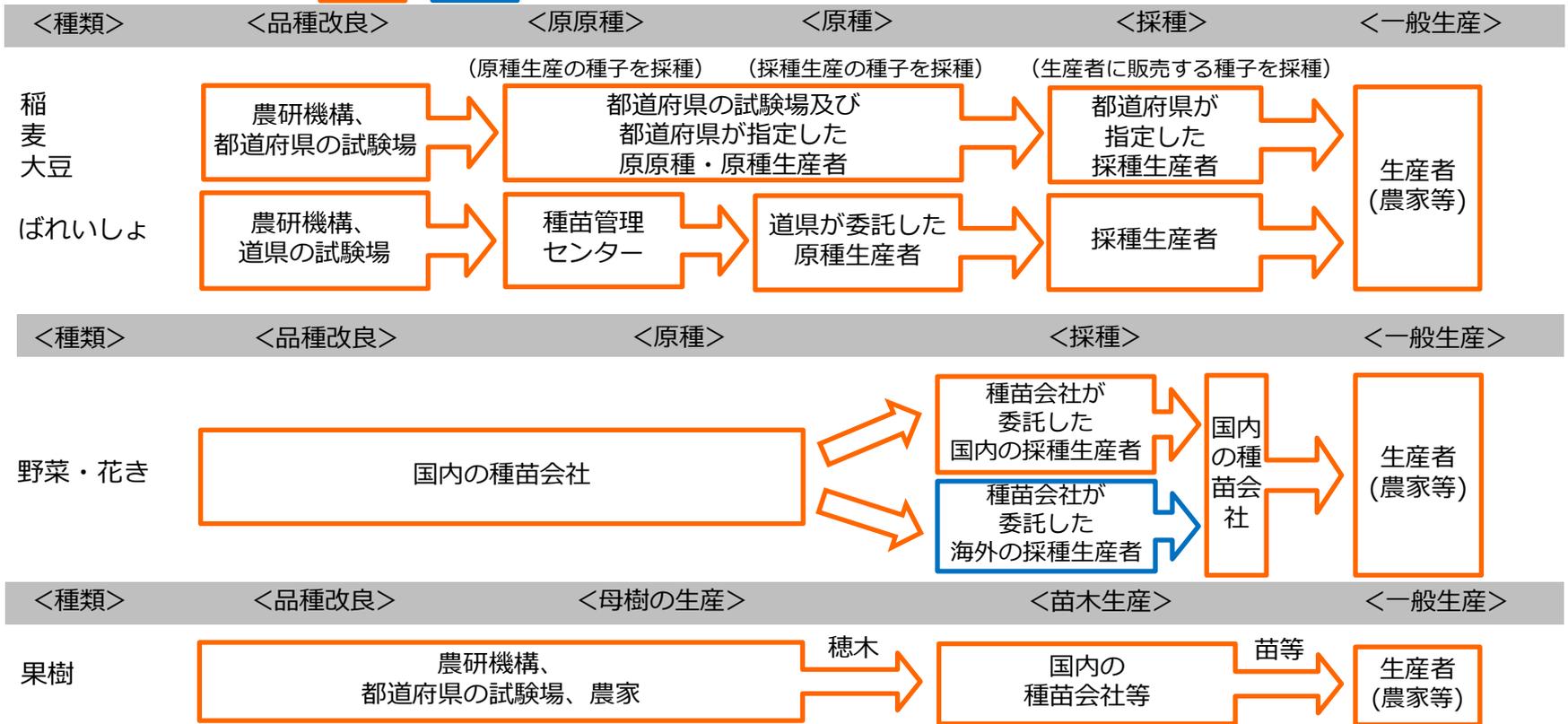
令和5年3月

農林水産省知的財産課

我が国における種苗の供給体制

- 稲、麦、大豆、ばれいしょ等の主要農作物の種子は、農研機構や都道府県の試験場が開発した優良な品種の原原種を元にして国内の種苗生産地で段階的に増殖され、供給されている。
- 野菜・花きの種子は、国内の種苗会社が開発した優良な品種を用いて国内及び海外の生産地で増殖され、供給されている。
- 果樹の苗は、農研機構や都道府県の試験場等が開発した優良な品種の母樹の穂木（枝）を国内で他の品種（台木）に接いで増殖し苗木に仕立てられ、供給されている。

【種子供給の代表的な例】 国内 → 海外



我が国における種苗の需給動向

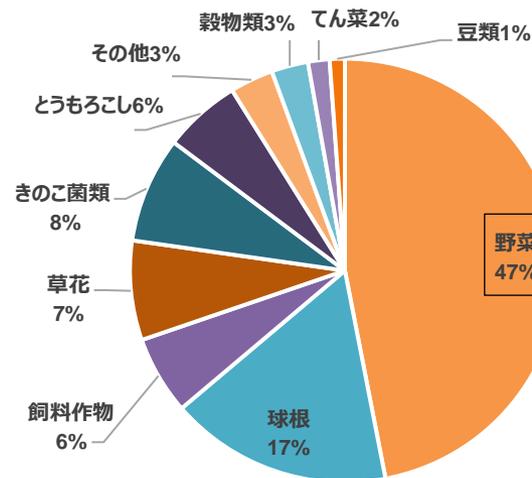
- 我が国の種苗産業の市場規模は、2,600億円程度と推計される。
- 穀類、果樹の種苗は、ほぼ全量国内で生産されている。
- 多種多様な品目の供給が必要になる野菜の種子については、その安定的な供給を確保するため、日本の種苗会社が、原産地に似た気候で育てた方が良質な種子ができること等の理由により、国内流通の約9割の種子を複数の国に分散する形で海外生産・輸入するとともに、約1年分の種子を国内に備蓄している。

我が国の種苗販売市場規模

品目	販売額（億円）
穀物	311.8
果樹	266.5
野菜	1,689.8
花き	300.3
合計	2,568.4

（資料：JATAFF「令和2年度種苗産業動向調査」）

我が国における種苗の輸入額（2021年）



野菜種子の輸入元国

国名	輸入額（百万円）	数量（トン）
チリ	5,294	511
アメリカ合衆国	2,012	1,195
南アフリカ共和国	1,940	221
イタリア	1,490	538
中華人民共和国	1,448	335
タイ	619	51
デンマーク	545	477
オーストラリア	531	146
大韓民国	519	49
インド	463	64
その他	2,070	447
合計	16,931	4,033

（参考）野菜種子の輸出先国（2021年）

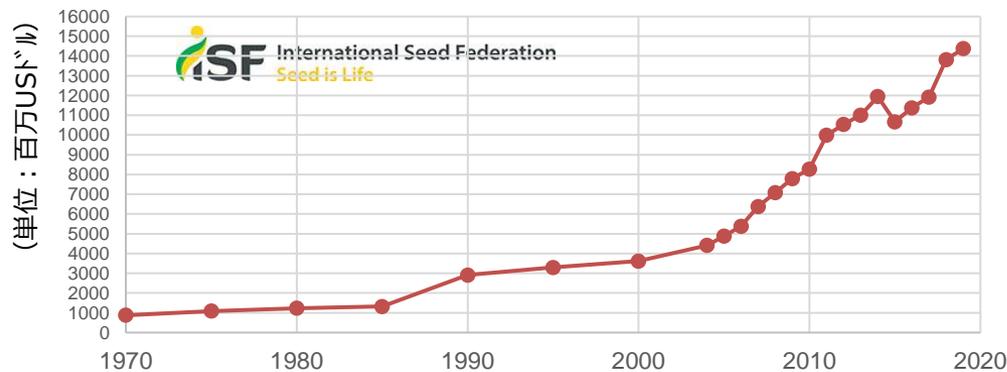
国名	輸出額（百万円）	数量（トン）
中華人民共和国	1,937	144
大韓民国	838	31
アメリカ合衆国	459	34
香港	386	20
インドネシア	361	19
ベトナム	316	28
ブラジル	273	17
フィリピン	247	29
オランダ	216	9
タイ	174	13
その他	1,451	134
合計	6,658	478

（資料：財務省「貿易統計」）

世界の種苗貿易と産業規模

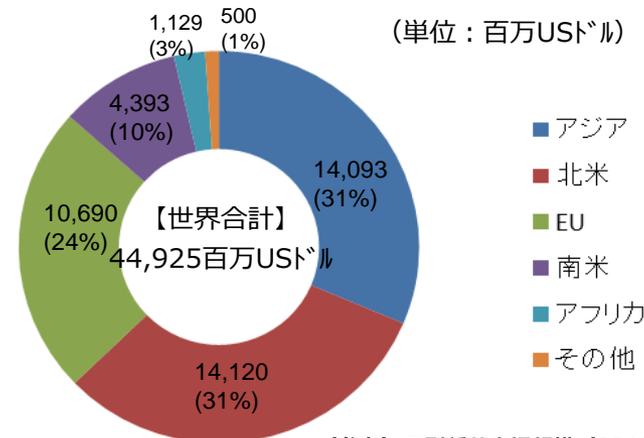
- 世界の種苗の貿易額は、80年代後半以降、急速に拡大し、2019年（平成31年）においては約144億USD（約1兆7,900億円）となっている。
- 世界の種苗の市場規模は、おおむね450億ドル程度と見積られており、国別にみると、アメリカ、中国等が上位を占めている。

(1) 世界の種苗の貿易額の推移



(資料：国際種子連盟 (ISF) ウェブサイト)

(2) 世界の種苗市場規模 (2012年)



(3) 国別種苗の貿易額(2019年)

(単位：百万USD)

	輸出額		輸入額	
		うち野菜		うち野菜
オランダ	2,990	1,816	1,339	588
フランス	1,919	479	1,026	371
アメリカ合衆国	1,803	592	951	226
ドイツ	824	70	868	116
デンマーク	684	78	670	224
ハンガリー	485	8	629	318
イタリア	475	121	621	40
チリ	325	185	486	364
スペイン	320	91	424	86
日本	159	78	320	171
その他	4,386	999	6,530	1,955
合計	14,370	4,517	13,864	4,459

(資料：国際種子連盟 (ISF) ウェブサイト)

(参考) 国別種苗市場規模 (2012年)

国名	国内流通額
①アメリカ	12,000
②中国	9,950
③フランス	2,800
④ブラジル	2,625
⑤カナダ	2,120
⑥インド	2,000
⑦日本	1,350
⑧ドイツ	1,170
⑨アルゼンチン	990
⑩イタリア	767
⑪トルコ	750
⑫スペイン	660
⑬オランダ	590
その他	7,153
合計	44,925

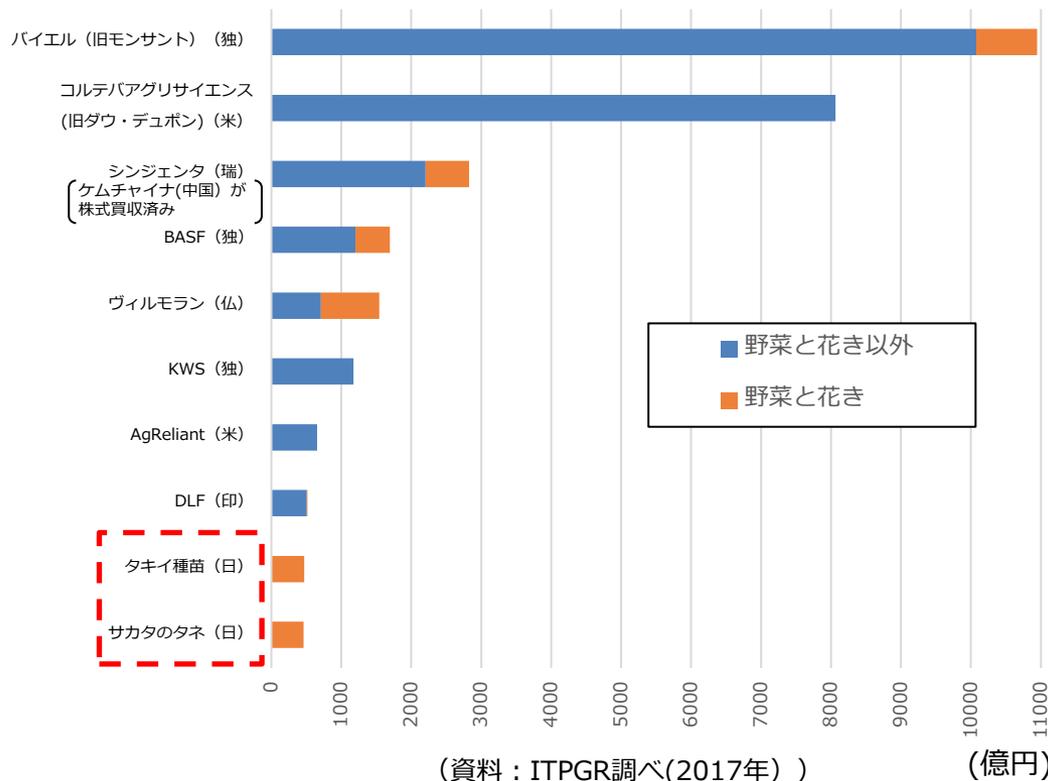
(単位：百万USD)

(資料：国際種子連盟 (ISF) ウェブサイト) 3

世界の主要な種苗会社の概要

- 世界の主要な種苗会社の種苗売上高をみると、バイエル（旧モンサント）（独）、コルテバアグリサイエンス（米）、シンジェンタ（瑞）等が上位を占めており、我が国からは、サカタのタネ及びタキイ種苗が世界上位10社に入っている。
- 両社は、多くの国に展開しているグローバル企業で野菜種子においては上位を占めており、特に、サカタのタネはブロッコリーで高い世界シェア、タキイ種苗は東南アジアのキャベツで高いシェアを有している。
- 国内市場の拡大が見込めない一方、種苗の国際競争の激化が見込まれており、我が国種苗会社のさらなる輸出拡大や海外展開が重要。

世界の主要な種苗会社の種苗売上高（2017年）



野菜種子及び花き種子の主要会社のシェア

会社名	販売実績 (億円)	シェア (%)
バイエル (モンサント)	922	17.0
ヴィルモラン	886	16.3
シンジェンタ	661	12.2
BASF	522	9.6
タキイ種苗	503	9.3
サカタのタネ	491	9.0
DLF	11	0.2
その他	1,784	32.8

(資料：ITPGR調べ(2017年))

我が国の種苗会社の海外展開事例

サカタのタネ

- ブロッコリーの約65%、トルコギキョウの約75%、パンジーの約30%の世界シェア

タキイ種苗

- キャベツのインドネシアでのシェア約70%、タイでのシェア約50~60%
- 観賞用ヒマワリ及びハボタンの世界シェア約70~80%